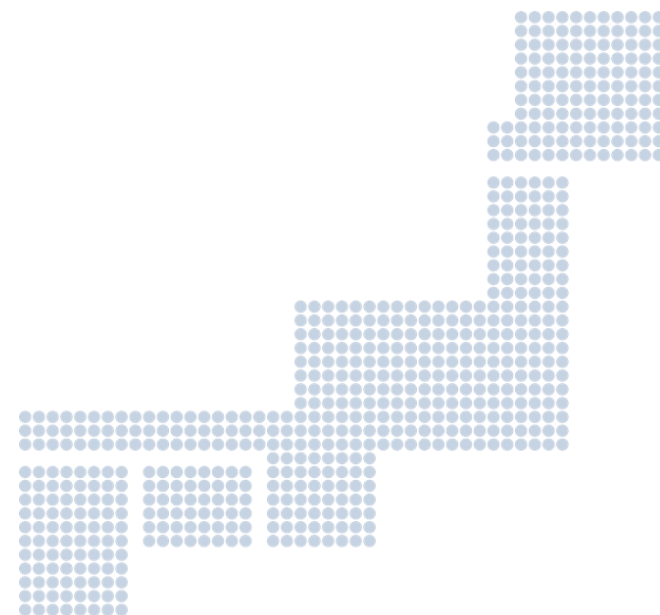


インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト モデル地区の選定について



- 1. 前回までの議論の概要**
- 2. モデル候補地区**
- 3. モデル地区の選定(案)**
- 4. モデル地区(案)の概要**
- 5. プロジェクトロゴマークの決定**
- 6. 今後のスケジュール(案)**

1. 前回までの議論の概要

1. 前回までの議論の概要

インフラツーリズム有識者懇談会

第1回
(11月9日)

- ① 広報を強化し、全国各地でインフラツーリズムの好事例を増やすには、どのような取り組みが必要か？
- ② 各施設をそれぞれレベルアップさせるために、手引きを作成する場合、どのような項目を盛り込むべきか？
- ③ インフラツーリズムを地域の観光資源として活用していくためには、どのような取り組みが必要か？

第2回
(12月25日)

インフラツーリズムの①理念の整理 ②公開の現状と課題
③拡大の勘所 ④今後の取組

※モデル地区選定のポイント

- ・地域組織、DMOの強化
- ・類似インフラ・地域への横展開
- ・周辺資源との連携

第3回
(2月26日)

①インフラツーリズムの拡大に向けたまとめ
②手引き(案)について ③提言(案)について

※モデル地区選定のポイント

- ・プロのガイド育成
- ・インフラの特性に応じた見せ方・仕組づくり
- ・周辺施設環境の整備

2. モデル候補地区

2. モデル候補地区

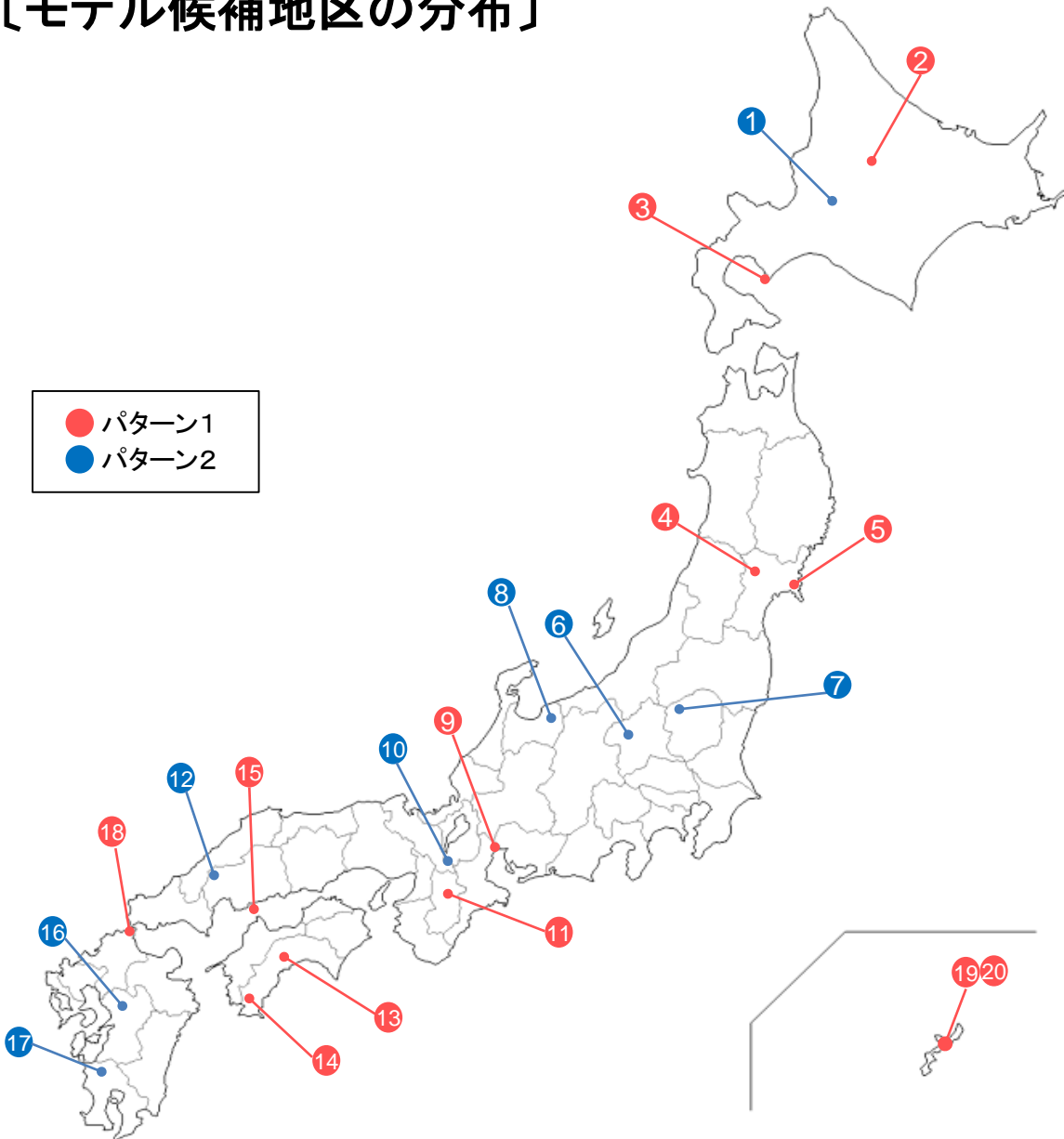
- 直轄管理施設及び会社管理施設を対象に、各施設管理者からモデル候補地区として20施設の推薦。
- 「パターン1:これから推進していく施設」と、「パターン2:更なるレベルアップを図る施設」の2パターンにて候補地区を整理。

〔モデル地区のパターン別要件〕

パターン	要件
パターン1 (これから推進していく施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理者と周辺地域(自治体、協議会、地元NPO等)が連携した取り組みが準備されていること。 ・施設管理者及び周辺地域について、今後2年間で連携を本格化させ、一定程度の来訪者(年間1,000人以上)を目指す意識が明確であること。
パターン2 (更なるレベルアップを図る施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・既にインフラツーリズムの活動が進んでおり、現時点で一定程度の来訪者(年間1,000人以上)があり、施設管理者と周辺地域が連携した協議会等が設置、運営されていること。 ・既にインバウンド(年間100人以上)があり、施設管理者及び周辺地域において、今後1年間でさらにインバウンドの拡大を目指す意識が明確であること。

2. モデル候補地区

〔モデル候補地区の分布〕



■モデル地区候補のインフラ施設

	施設	パターン
1	桂沢ダム・新桂沢ダム	2
2	忠別ダム	1
3	国道37号白鳥大橋	1
4	鳴子ダム	1
5	石巻復興祈念公園	1
6	ハッ場ダム	2
7	鬼怒川上流ダム群(五十里・川俣・川治・湯西川)	2
8	宇奈月ダム	2
9	船頭平閘門	1
10	天ヶ瀬ダム	2
11	大滝ダム	1
12	温井ダム	2
13	日下川新規放水路	1
14	横瀬川ダム	1
15	来島海峡大橋他(瀬戸内しまなみ海道)	1
16	立野ダム	2
17	鶴田ダム	2
18	関門航路	1
19	漢那ダム	1
20	金武ダム	1

2. モデル候補地区

〔モデル候補地区の概要〕

○ モデル候補地区の特徴とアクセス・背後地の状況は、以下のとおり。

	施設	パターン	所在地	特徴等	アクセス・背後地
1	桂沢ダム・新桂沢ダム	2	北海道 三笠市	北海道初の多目的ダムを嵩上げ工事中。 (2020年度完成予定) ダム湖(桂沢湖)周辺は化石の産地。 三笠ジオパーク・炭鉱遺産と連携したツアー実施。	空港:新千歳空港 (107km、約1時間30分) 主要都市:札幌市 (65km、約1時間)
2	忠別ダム	1	北海道 上川郡 東川町	重力式コンクリート+フィル複合ダムとして国内2位の堤高。 「大雪山忠別湖トライアスロンinひがしかわ」開催。 上流に大雪山国立公園天人峡・羽衣の滝。	空港:旭川空港 (20km、約40分) 主要都市:旭川市 (28km、約50分)
3	国道37号白鳥大橋	1	北海道 室蘭市	東日本最大級の吊り橋、6か所のビューポイント。 主塔見学ツアー、ウォークイベントを実施。(2018年) 室蘭市:全国工場夜景都市協議会に参加。	空港:新千歳空港 (94km、約1時間10分) 主要都市:札幌市 (130km、約1時間40分)
4	鳴子ダム	1	宮城県 大崎市	日本人技術者による初のアーチダム、土木学会選奨土木遺産。 GWのすだれ放流+鯉のぼりが人気。 栗駒国定公園、下流に鳴子温泉。	空港:仙台空港 (94km、約1時間30分) 新幹線:古川駅 (35km、約50分) 主要都市:仙台市 (81km、約1時間20分)
5	石巻復興祈念公園	1	宮城県 石巻市	震災復興のシンボルとして県営・市営公園を整備、追悼・記念 施設を国が整備。(2020年度完成予定) 植樹・震災展示スペース見学、被災地視察(語り部)を実施。	空港:仙台空港 (65km、約1時間) 新幹線:仙台駅 (56km、約1時間) 主要都市:仙台市 (53km、約1時間10分)

2. モデル候補地区

〔モデル候補地区の概要〕

	施設	パターン	所在地	特徴等	アクセス・背後地
6	ハツ場ダム	2	群馬県 吾妻郡 長野原町	2019年度完成予定。 工事の経過を追って各種見学ツアーを地元主導で実施。 (やんばツアーズ) 上信越国立公園、草津温泉、軽井沢と連携の可能性。	空港：羽田空港 (189km、約3時間10分) 新幹線：軽井沢駅 (44km、約1時間) 主要都市：前橋市 (53km、約1時間10分)
7	鬼怒川上流ダム群 (五十里・川俣・川治・湯西川)	2	栃木県 日光市	五十里ダム・川治ダムの導水トンネル、湯西川ダム水陸両用バスツアーなど、事業者・地域限定旅行社による着地型観光実施。 日光国立公園、世界遺産との連携の可能性。	空港：羽田空港 (196km、約2時間40分) 新幹線：宇都宮駅 (56km、約1時間10分) 主要都市：宇都宮市 (53km、約1時間10分)
8	宇奈月ダム	2	富山県 黒部市	黒部川水系唯一の多目的ダム。 黒部峡谷鉄道トロッコ列車から見え、展示施設もあり。 立山黒部アルペンルート・黒部ダム・上部軌道・立山砂防との連携の可能性。	空港：富山きときと空港 (57km、約1時間) 新幹線：黒部宇奈月温泉駅 (14km、約20分) 主要都市：富山市 (59km、約1時間)
9	船頭平閘門	1	愛知県 愛西市	木曾三川分流工事に伴い明治期に完成、重要文化財。 現在稼働している国内最古の閘門、小パナマ運河。 観光船による見学、動植物等自然観察との連携の可能性。	空港：中部国際空港 (63km、約1時間) 新幹線：名古屋駅 (26km、約30分) 主要都市：名古屋市 (33km、約30分)
10	天ヶ瀬ダム	2	京都府 宇治市	市街地(駅)から歩いて行けるアーチダム。 バイパストンネル建設中。 お茶の京都DMO監修による見学ツアー実施。 宇治平等院(世界遺産)等との連携可能性。	空港：関西国際空港 (94km、約1時間20分) 新幹線：京都駅 (21km、約30分) 主要都市：京都市 (23km、約40分)

2. モデル候補地区

〔モデル候補地区の概要〕

	施設	パターン	所在地	特徴等	アクセス・背後地
11	大滝ダム	1	奈良県 吉野郡 川上村	展示施設「学べる防災ステーション」と堤内見学を実施。 大滝ダム・大迫ダム・水源地の森の着地型ツアー。 吉野熊野国立公園との連携の可能性。	空港：関西国際空港 (93km、約1時間40分) 新幹線：京都駅 (111km、約2時間) 主要都市：奈良市 (53km、約1時間20分)
12	温井ダム	2	広島県 山県郡 安芸太田 町	アーチダムとして国内第2位の堤高。 4～6月に水位低下放流を実施、桜・紅葉の名所。 三段峡(西中国山地国定公園)との連携の可能性。	空港：広島空港 (91km、約1時間20分) 新幹線：広島駅 (56km、約1時間) 主要都市：広島市 (54km、約1時間)
13	日下川新規放水路	1	高知県 高岡郡 日高村	平成30年10月着工の日本最長級(5.2km)の放水路トンネル工 事現場の見学を実施。 「日高村オムライス街道」との連携を計画。	空港：高知龍馬空港 (37km、約40分) 主要都市：高松市 (17km、約30分)
14	横瀬川ダム	1	高知県 宿毛市	2019年度完成予定、全国初の側水路減勢方式のダム。 観光協会主催ナイトツアーがダムアワードイベント賞受賞。 足摺宇和海国立公園、四万十川との連携の可能性。	空港：高知龍馬空港 (144km、約2時間30分) 主要都市：高知市 (124km、約2時間20分)
15	来島海峡大橋 他 (瀬戸内しまなみ海道)	1	愛媛県 今治市	サイクリングロードとして海外でも人気。「サイクリストの聖地」 多々羅大橋・来島海峡大橋の塔頂見学を実施。 瀬戸内海国立公園、日本遺産(村上海賊)と連携。	空港：松山空港 (56km、約1時間20分) 新幹線：新尾道駅 (54km、約50分) 主要都市：松山市 (49km、約1時間10分)

2. モデル候補地区

〔モデル候補地区の概要〕

	施設	パターン	所在地	特徴等	アクセス・背後地
16	立野ダム	2	熊本県 阿蘇郡 南阿蘇村	洪水調節専用ダム(流水型ダム)として2018年着工。 復興支援に向けて、産学官連携によるプロジェクトでツアー実施。 阿蘇くじゅう国立公園、阿蘇ジオパークとの連携。	空港:阿蘇くまもと空港 (16km、約20分) 新幹線:熊本駅 (31km、約50分) 主要都市:熊本市 (29km、約1時間)
17	鶴田ダム	2	鹿児島県 薩摩郡 さつま町	九州最大規模の重力式コンクリートダム。 再生事業の工事現場や堤体内の見学ツアーを実施。 渇水期には赤レンガの曾木発電所遺構が出現。	空港:鹿児島空港 (38km、約50分) 新幹線:川内駅 (35km、約50分) 主要都市:鹿児島市 (60km、約1時間20分)
18	関門航路	1	福岡県 北九州市	山口県下関市と北九州市を隔てる海峡、航路浚渫現場の見学会を実施。 門司港レトロ地区・壇ノ浦、巖流島との連携の可能性。	空港:北九州空港 (38km、約40分) 新幹線:小倉駅 (14km、約30分) 主要都市:北九州市 (13km、約30分)
19	漢那ダム	1	沖縄県 国頭郡 宜野座村	沖縄式の石積み模様や管理設備は赤瓦にシーサー、下流に 復元したマングローブの生態系、ビオトープなど自然観察実施。 沖縄本島内リゾート地、世界遺産との連携の可能性。	空港:那覇空港 (60km、約1時間) 主要都市:那覇市 (58km、約1時間)
20	金武ダム	1	沖縄県 国頭郡 金武町	世界初の台形CSGダムとして2009年に着工。 ダム建設時に発見された文化財「宿道」を移設・復元。 沖縄本島内リゾート地、世界遺産との連携の可能性。	空港:那覇空港 (52km、約50分) 主要都市:那覇市 (49km、約50分)

3. モデル地区の選定(案)

3. モデル地区の選定(案)

モデル候補地区から、インフラツーリズム拡大に向けた取り組みの効果が特に期待できる地区をモデル地区として選定する。

1. モデル地区(5地区)

インフラツーリズムを重点的に取り組んでおり、今年度、魅力的なツアー造成に向けた取り組みを「社会実験」として実施する地区。

<取り組み内容>

- ・資源の調査
- ・地域資源を活用したツアーの企画
- ・ファムツアー(下見招待旅行)の実施
- ・持続的な体制づくり

2. モデル候補地区(15地区)

今後、インフラツーリズムを重点的に取り組んでいく地区。

※各地区の状況に応じて、コーディネーター派遣等の支援を実施。

3. モデル地区の選定(案)

〔モデル候補地区の評価〕 ◎: 体制づくりやツアー実施等の取組が特に期待できる ○: 体制づくりやツアー実施等の取組が期待できる

	施設	パターン	既存の活用しうる組織	今後の連携団体等	既存の見学内容	取組方針
1	桂沢ダム・新桂沢ダム	2	◎ ・ 三笠ジオパーク推進協議会	○ ・ (特非)炭鉱の記憶推進団体、三笠地域における「食」と「農」の連携推進協議会、そらちシーニックバイウエイルート運営代表者会議 等	◎ ・ 桂沢ダム見学と原石山での地層・化石観察を実施 ・ ダムと三笠高校レストランをセットにしたインフラツアーを実施 〔 ツアー開催回数: 66回 参加人員: 1,191人 〕	○ ・ 化石観察等ジオパークとの連携 ・ 産炭地の産業遺産との連携
2	忠別ダム	1	—	○ ・ 東川町、(一社)ひがしかわ観光協会、(株)東川振興公社、(有)アグリテック 等	○ ・ 忠別ダムの操作室やダム内部(監査廊)見学、周辺広場(散策広場、フクロウ池、七色の噴水など) 〔 ツアー開催回数: 1回 参加人員: 35人 〕	○ ・ 大雪山国立公園の自然体験との連携(エコツアー・トレッキング)
3	国道37号白鳥大橋	1	—	○ ・ 室蘭市、室蘭観光協会、室蘭開発建設部、室蘭市、100年建造物保存活用会 等	○ ・ 白鳥大橋主塔とケーブル固定施設の見学、室蘭港ナイトクルージング 〔 ツアー開催回数: 一回 参加人員: 一人 〕	◎ ・ 国内初の積雪寒冷地での吊橋主塔見学 ・ 工場夜景等の産業観光との連携
4	鳴子ダム	1	◎ ・ 鳴子ダム水源地域ビジョン協議会	○ ・ (一社)みやぎ大崎観光公社、大崎市、観光協会土地改良区、東北電力(株)、電源開発(株) 等	◎ ・ 観光放流の「すだれ放流」やライトアップイベント、紅葉時の直下散策ツアー、ノルディックウォーク 〔 ツアー開催回数: 63回 参加人員: 1,446人 〕	◎ ・ 歴史的なインフラ(選奨土木遺産)の利活用 ・ 震災復興に向けた東北への外国人誘客
5	石巻南浜津波復興祈念公園	1	◎ ・ 地域活性化推進協議会(東北国営公園事務所)	○ ・ 市民参加型管理運営検討協議会、がんばろう石巻の会、3.11みらいサポート、こころの森づくり、東北国営公園事務所 等	○ ・ 公園内への植樹、育苗、手入れなど ・ 震災展示スペース「南浜つなぐ館」の視察 ・ 被災地巡り(語り部) 〔 ツアー開催回数: 1回 参加人員: 40人 〕	○ ・ 震災復興に向けた東北への外国人誘客 ・ 防災スタディーツアー

3. モデル地区の選定(案)

〔モデル候補地区の評価〕 ◎: 体制づくりやツアー実施等の取組が特に期待できる ○: 体制づくりやツアー実施等の取組が期待できる

	施設	パターン	既存の活用しうる組織	今後の連携団体等	既存の見学内容	取組方針
6	八ツ場ダム	2	◎ ・ チームやんば	◎ ・ チームやんば 他	◎ ・ 国交省主催のダム現場見学(目的別の10本のツアー)を開催 ・ 地元主催の有料ツアーを開催 〔ツアー開催回数: 1,334回 参加人員: 54,819人〕	○ ・ 工事見学の実績を完成後のツアーにつなげるための検討 ・ 草津～軽井沢ルート、ジオパークとの連携
7	鬼怒川上流ダム群 (五十里・川俣・川治・湯西川)	2	◎ ・ 鬼怒川上流ダム群水源地域ビジョン策定委員会	○ ・ ネイチャープラネット、くりやまGO企画、Kuriyama GO Travel、ダック、日光市観光協会、日光タクシー協議会 等	○ ・ 3ダムツアー ・ 川俣ダムツアー ・ 水陸両用バスツアー 〔ツアー開催回数: 一回 参加人員: 一人〕	○ ・ 日光国立公園、世界遺産(日光の社寺)との連携 ・ 隣接インフラとの連携
8	宇奈月ダム	2	—	○ ・ 富山県、黒部市、(一社)黒部・宇奈月温泉観光局 等	◎ ・ ダム内部(監査廊)見学 ・ 大夢来館(インフォメーション施設)見学 〔ツアー開催回数: 104回 参加人員: 1,741人〕	○ ・ 黒部トロッコ、立山砂防との連携 ・ 中部山岳国立公園、ジオパークとの連携
9	船頭平閘門	1	◎ ・ 愛西市木曾三川ミズベリング協議会	○ ・ 木曾川下流河川事務所、愛西市、愛西市観光協会、愛西市商工会、愛西ボランティアガイドの会、立田ふれあいの里運営連絡協議会 等	○ ・ 観光船による見学 〔ツアー開催回数: 一回 参加人員: 一人〕	◎ ・ 歴史的なインフラ(重要文化財)の利活用 ・ 河川内の動植物等自然観察ツアー
10	天ヶ瀬ダム	2	◎ ・ 天ヶ瀬ダムを観光資源に含めた宇治市地域の観光発展検討会	◎ ・ お茶の京都DMO、京都京阪バス、水資源機構、関西電力、宇治商工会議所、宇治市観光協会、京阪ホールディングス(株) 等	◎ ・ 天ヶ瀬ダム・高山ダム見学ツアー 〔ツアー開催回数: 通年 参加人員: 26,906人〕	◎ ・ 地域連携DMOを主体とした取り組み ・ 宇治の世界遺産・日本遺産との連携

3. モデル地区の選定(案)

〔モデル候補地区の評価〕 ◎: 体制づくりやツアー実施等の取組が特に期待できる ○: 体制づくりやツアー実施等の取組が期待できる

	施設	パターン	既存の活用しうる組織	今後の連携団体等	既存の見学内容	取組方針
11	大滝ダム	1	—	○ ・ 吉野川紀の川源流 ツーリズム推進協議 会、川上村観光協会、 関西電力 等	○ ・ 年1回ダム内部(監査廊)見学 ・ 「学べる防災ステーション」併設 〔 ツアー開催回数: 3回 参加人員: 160名 〕	○ ・ 防災と治水・利水をテーマとし たトレッキングツアー
12	温井ダム	2	◎ ・ 温井ネットワーク協議 会	○ ・ 地域商社あきおおた (一社)、せとうち広島 ディスティネーション キャンペーン協議会、 日本ウエイクサーフィ ン協会 等	○ ・ 資料室、展望広場、ダム下流広場 にてダム概要を説明した後にゲート室 (放流管)を見学 〔 ツアー開催回数: 23回 参加人員: 589人 〕	○ ・ 中国山地～広島市内～瀬戸 内海国立公園ルートとの連携
13	日下川新規 放水路	1	—	○ ・ 日高村教育委員会、 日高村商工会、日高 村オムライス街道推 進プロジェクト、村の ガイドひだかの会、仁 淀ブルー観光協議会 等	○ ・ 学生や建設技術者を受け入れた工 事現場の見学 〔 ツアー開催回数: 一回 参加人員: 一回 〕	◎ ・ 国内最長級の放水路トンネル 建設の高度技術見学 ・ 地元農業・食との連携
14	横瀬川ダム	1	—	○ ・ 宿毛市観光協会	◎ ・ 工事現場見学ツアー ・ 宿毛市観光協会企画のナイトツア ー 〔 ツアー開催回数: 53回 参加人員: 1,246人 〕	○ ・ 工事中の現場見学の実績をダ ム完成後のツアーに活用検討
15	来島海峡大 橋他(瀬戸 内しまなみ 海道)	1	◎ ・ 環瀬戸内海地域交流 促進協議会	◎ ・ 地域連携DMOしま なみジャパン、道の駅 多々羅大橋・よしみ いきいき館、今治地方 観光協会 等	○ ・ 多々羅大橋及び来島海峡大橋の塔 頂からの見学 〔 ツアー開催回数: 一回 参加人員: 370人 〕	◎ ・ 地域連携DMOとの連携 ・ 世界最大級の斜張橋や世界 唯一の三連吊橋の塔見学 ・ サイクリング、日本遺産との連 携

3. モデル地区の選定(案)

〔モデル候補地区の評価〕 ◎:体制づくりやツアー実施等の取組が特に期待できる ○:体制づくりやツアー実施等の取組が期待できる

	施設	パターン	既存の活用しうる組織	今後の連携団体等	既存の見学内容	取組方針
16	立野ダム	2	◎ ・「阿蘇・立野峡谷」 ツーリズム推進協議会	○ ・これから養成するガイド、ツアー商品を造成する旅行会社等	○ ・立野ダム展望所からの見学 ・立野ダムサイト内での施工状況・周辺環境見学 〔ツアー開催回数:5回 参加人員:140人〕	○ ・震災復興のための産官学連携プロジェクト ・国立公園・ジオパークと連携したツアー造成
17	鶴田ダム	2	◎ ・川内川水系かわまち づくり観光振興部会	◎ ・地域連携DMO(株) やさしいまち、伊佐市 観光協会、温泉旅館 組合、飲食業組合、 (株)ソラシドエア等	◎ ・旅行会社やメディア関係者を対象としたモニターツアーを実施 〔ツアー開催回数:205回 参加人員:2,609人〕	◎ ・地域連携DMOとの連携 ・期間限定の観光資源(湧水期の旧曾木発電所遺構)の利活用
18	関門航路	1	—	○ ・門司港レトロ倶楽部、 B&A門司港、関門海 峡観光推進協議会、 下関商工会議所、北 九州商工会議所等	○ ・関門航路凌漢現場見学会 〔ツアー開催回数:一回 参加人員:一人〕	○ ・海底トンネル・関門橋、門司港 レトロ地区等との連携
19	漢那ダム	1	◎ ・漢那ダム水源地域ビ ジョン推進協議会	○ ・宜野座村観光協会、 (株)かりゆし、宜野座 カントリークラブ、JA 沖縄等	○ ・ダム堤体・内部の見学 ・ダム右岸の魚道見学 ・ダム下流のマングローブ生態系 ツアー開催回数:3回 〔参加人員:120人〕	○ ・沖縄本島内リゾート地・世界遺 産との連携 ・下流のマングローブ林におけ る自然観察
20	金武ダム	1	◎ ・金武ダム水源地域ビ ジョン推進協議会	○ ・NPO雄飛ツーリズム ネットワーク、ふくら しゃや、ネイチャー未 来館等	○ ・ダム堤体・内部の見学 ・国頭方東海道(宿道)の一部復元 ツアー開催回数:5回 〔参加人員:79人〕	○ ・沖縄本島内リゾート地・世界遺 産との連携 ・下流のマングローブ林におけ る自然観察

3. モデル地区の選定(案)

○モデル地区を5箇所選定

◎の評価が3つ以上である地区をモデル地区(案)として提案

	施設	所在地	評価結果
1	鳴子ダム	宮城県 大崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の技術者により造られた日本初のアーチダムで選奨土木遺産。 ・周辺には温泉、名勝、史跡等があり、農業遺産である大崎耕土も含めた流域連携モデルとしての取り組みが期待できる。
2	ハッ場ダム	群馬県 吾妻郡 長野原町	<ul style="list-style-type: none"> ・建設中ダムでの多彩な見学ツアー(やんばツアーズ)の開催により、年間5万人以上の来訪者。 ・今年度完成予定を踏まえ、建設段階から管理段階への移行モデルとして取り組みが期待できる。
3	天ヶ瀬ダム	京都府 宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・宇治市街地に近接した立地を活かし、お茶の京都DMOと連携したツアー造成や、広域連携としての高山ダムとの組み合わせなどが期待できる。 ・プロジェクトマップなど、来訪者の夜間ニーズに対する取り組みも期待できる。
4	来島海峡大橋 他 (瀬戸内しまなみ海道)	愛媛県 今治市	<ul style="list-style-type: none"> ・「サイクリストの聖地」として知られる瀬戸内しまなみ海道を舞台に、世界初の三連吊り橋である「来島海峡大橋」の塔頂体験ツアーなど魅力的なコンテンツを有するが取り組みが期待できる。 ・先行実施している明石海峡大橋のノウハウも取り入れ、長大橋のモデルとして期待できる。
5	鶴田ダム	鹿児島県 薩摩郡 さつま町	<ul style="list-style-type: none"> ・九州最大の重力式コンクリートダムで、水位低下時には明治期の発電所遺構が出現するサプライズも魅力的で期待できる。 ・霧島連山や桜島等の広域周遊ルートの取り組みが期待できる。

4.モデル地区(案)の概要

4. モデル地区(案)の概要

〔①鳴子ダム〕



◆施設概要

- ・協議体：鳴子ダム水源地域ビジョン協議会（大崎市、宮城県、NPO法人、鳴子まちづくり協議会、鳴子温泉郷観光協会、大崎地域水管理協議会、東北電力(株) 他）
- ・見学内容：管理所で実施している観光放流の「すだれ放流」やライトアップイベント、観光公社で実施している「すだれ放流」時と紅葉時のダム直下の散策ツアー、公民館で開催しているダム直下を訪ねるノルディックウォークなどを実施している。
- ・年間ツアー参加者：1,446人

◆活動実績例

- ・毎年ゴールデンウィークに実施している「すだれ放流」には約1万人が来場
- ・ダム直下を訪ねる各種ツアーも実施

◆ツアー造成に向けた方向性(案)

- ・地元自治体及び宮城県・仙台市のインバウンド計画を踏まえてターゲット設定、コースを策定する。
- ・温泉や伝統工芸・食とのストーリーを検討する。

4. モデル地区(案)の概要

〔②ハツ場ダム〕



◆施設概要

- ・協議体:チームやんば
 (①地元住民②長野原町役場職員
 ③国土交通省職員)
- ・見学内容:「やんばツアーズ」として
 国交省主催のインフラツアー(個人向け、
 団体向け)及び地元主催の有料見学会
 を各種開催している。
- ・年間ツアー参加者:54,819人

◆活動実績例

- ・やんばツアーズ
 目的別に楽しめる10本の見学プラン
 個人向け4プラン(ぷらっと見学会など)
 団体向け4プラン(やんばコンシェルジュ御案内
 ツアーなど)
 プレミアム2プラン(地元主催有料ツアー)

◆ツアー造成に向けた方向性(案)

- ・地元自治体及び群馬県のインバウンド計画を踏ま
 えてターゲット設定、コースを策定する。
- ・草津温泉・浅間山の火山や地質をテーマとしたス
 トーリーを検討する。

4. モデル地区(案)の概要

〔③天ヶ瀬ダム〕



◆施設概要

- ・協議体：天ヶ瀬ダムを観光資源に含めた宇治市地域の観光発展検討会
(宇治市、宇治商工会議所、宇治市観光協会、京阪ホールディングス(株)、(一社)お茶の京都DMO、京都府、近畿地方整備局(琵琶湖河川・淀川ダム統管)
- ・見学内容：天ヶ瀬ダム・高山ダム見学ツアー
- ・年間ツアー参加者：26,906人

◆活動実績

- ・天ヶ瀬ダムを見に行こう
普段は入れないキャットウォークを歩き、放流を間近で見学

◆ツアー造成に向けた方向性(案)

- ・DMO、および自治体・京都府のインバウンド計画を踏まえてターゲット設定、コースを策定する。
- ・歴史・文化を組み合わせたテーマを検討する。

4. モデル地区(案)の概要

〔④来島海峡大橋 他(瀬戸内しまなみ海道)〕



◆施設概要

- ・協議体：環瀬戸内海地域交流促進協議会
(四国経済連合会、中国経済連合会、兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国運輸局、中国地方整備局、四国地方整備局、本州四国連絡高速道路(株))
- ・見学内容：多々羅大橋3P(大三島側の主塔)及び来島海峡大橋8P(来島海峡第三大橋の馬島側の主塔)の塔頂見学
- ・年間ツアー参加者：370名
(多々羅大橋：200名、来島海峡大橋170名)

◆活動実績例

- ・瀬戸内しまなみ海道塔頂体験ツアー
多々羅大橋コースと来島海峡大橋コース
で実施

◆ツアー造成に向けた方向性(案)

- ・本四高速及び今治市・愛媛県のインバウンド計画を踏まえてターゲット設定、コースを策定する。
- ・サイクリング体験と歴史(村上海賊)を組み合わせたテーマを検討する。

4. モデル地区(案)の概要

〔⑥鶴田ダム〕



◆施設概要

- ・協議体：川内川水系かわまちづくり観光振興部会
 （薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市、鹿児島県、宮崎県、川内川河川事務所、鶴田ダム管理所）
- ・見学内容：川内川流域で鶴田ダムを含めた観光モデルコースを作成し、旅行会社やメディア関係者等を対象としたモニターツアーを実施。
- ・年間ツアー参加者：2,609人

◆活動実績例

- ・つるだダムナイト
 デジタルアートに彩られた夜のダムを見に行こう

◆ツアー造成に向けた方向性(案)

- ・地元自治体・鹿児島県のインバウンド計画を踏まえてターゲット設定、コースを策定する。
- ・入来武家屋敷など北薩の歴史・文化をテーマとして検討する。

5. プロジェクトロゴマークの決定

5. プロジェクトロゴマーク決定

○ 案2に決定する。

(案2コンセプト: 日本(国土)を支えているのはドボクでありインフラである。そんな全国各地のインフラを巡っていただきたい。)

案1



案2



案3



[参考]

インフラツーリズムのFacebookにおける投票結果
(投票期間: 2019.4.23~5.31)

案1: 7票
案2: 27票
案3: 5票

6. 今後のスケジュール(案)

6. 今後のスケジュール(案)

インフラツーリズム有識者懇談会

第4回
(6月下旬～
7月上旬)

- ・モデル地区(5箇所)の選定
- ・プロジェクトロゴマークの決定

第5回
(12月)

- ・モデル地区の進捗状況に関する中間報告
(現地検討会、ファムツアーの実施状況等)

第6回
(2月)

- ・本年度事業の総括
- ・次年度の取組方針